

令和6年度事業報告書		事業所名	デイサービスセンターしおかぜ下津井		作成者	中島政宏	作成日	R7.3.31
目標	本年テーマ	(計画) 本人・家族が安心して今後も今の生活を続けられるように支援します						
		(評価) 運動の手順の見直しとレクの強化によりデイ利用を進んで続けれるよう行った						
基本処遇及び運営	■令和6年度処遇及び運営方針に対しての評価							
	(計画) 持久力向上 :家事や活動・歩行時にふらつきにくいように持久力をつける運動の実施							
	自宅のできる筋トレ・脳トレメニュー :各種体操等の中で自宅のできるやり方の情報提供							
	身体能力の数値化、活動で実感。 :身体機能を数値・図形化したり、実際に外出や家事等を通じ自信を持てるようにする							
	(評価)							
	持久力(筋力向上)の数値が上がる人も多くみられている							
	自宅での運動も出来るよう機能訓練や健康体操・帰りの会の中で動きを提案、脳トレやレクでも自宅でしやすいものを準備、自宅に持ち帰り活用されている							
	リハケアを活用し姿勢や歩行を数値化、理解しやすく意欲向上にも繋がった							
研修・セミナー	■職員研修計画と実績							
		研修 名称	参加実績	研修 名称	参加実績			
		安全運転管理者講習	清水 参加	法令順守・倫理	内部研修			
		機能訓練研修	荒金 西原参加	虐待防止	内部研修			
		認知症予防研修	内部研修	職員心得研修	内部研修			
		感染症研修	内部研修	救命救急研修	なし			
		生活相談員研修	なし					
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果							
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果			
		安全衛生委員会	感染対策の周知	栄養会議・給食会議	メニューの改善			
		地域支援委員会	参加なし					
		デイ会議	業務改善を図った	運動メニュー(体操メニュー)	運動声掛けの改善			
		虐待防止委員会	(月1回デイ会議時)	レクリエーション(脳トレ)	個別レクの充実			
		BCP対策委員会	災害時対応の周知	機能訓練(身体機能)	個別対応の見直し			
		毎月行事	利用者に好評いただく	広報(インスタ・写真)	荒金 藤田 中島			

防 災 ・ 災 害	■災害訓練計画・実績					
		訓練予定月	実施月	訓 練 目 的	訓練評価	
		9	火災避難訓練		火災を想定した訓練、安全に避難実施	
		3	地震火災避難訓練		地震・火災を想定した訓練 地震対応をしっかりと行う必要有り	
行 事 ・ イ ベ ン ト	■月別行事(下段)・内部研修報告(上段)					
	月 度					
	4 月	機能訓練勉強会		レクリエーション検討会:塗り絵の行い方		
		(花見)/屋外歩行				
	5 月	倫理・法令順守勉強会		運動メニュー検討会		
		BBQ 屋外歩行				
	6 月	虐待防止勉強会		運動メニュー検討会:機能訓練を実施していくための時間の見直し実施。		
		大運動会				
	7 月	認知症勉強会		レクリエーション・行事検討会(8. 9月行事)		
		かき氷 屋外歩行(なんば牧場)				
	8 月	レクリエーション検討会				
		夏祭り そば打ち お盆外出				
	9 月	レクリエーション(10.11月行事)検討会				
		敬老会 敬老食事メニュー(1週間) 屋外歩行				
	10月	レクリエーション検討会				
		デイバス旅行(10/23(水)) ハロウィン(こども園交流会)				
	11月	レクリエーション(12.1月行事)検討会				
		紅葉狩りドライブ 焼き芋 鍋 栄養教室(冬)				
	12月	運動メニュー検討会				
		クリスマス会(忘年会) ゆず風呂(足湯) 年末屋外歩行 鍋				
	1 月	感染症勉強会		レクリエーション検討会		
		新年会(カラオケ大会) 初詣 鍋				
	2 月	認知症勉強会内部研修		運動メニュー(体操)検討会		
		節分会 屋外歩行 鍋				
	3 月	BCP内部研修 介護事故防止 交通事故対応について				
		雛祭会(こども園交流会) 花見外出/屋外歩行 鍋				
	(総評) 目標数値 34.0名/日平均に対し、年間平均29.77人/日 月ごとの最大は9月の32.0と到達できませんでした。 新規利用は平均3～4程度あるものの、9月以降休みや終了への対応が追い付いていませんでした。 各行事についてはどの行事も以前よりも好評でその結果都合で休んでも振替でその日に利用されることもありました。こども園との交流も頻度を増やす方向で年末にも追加で実施し、喜んでいただいております(今後の交流にもつなげていきます) 運動への声掛けやその根拠となるリハケアの実施や説明、レク・脳トレを強化しつつ、後半は各職種を意識した業務の割り振りを行い、機能訓練(個別リハ)でも今までできていない分を出来るよう調整しそのあたりの利用者様からの不満減少にもつながっています。					